

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブ ジュニア（新越谷校）・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 15日		2025年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 15日		2025年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・明るく広々とした教室でのびのびと過ごせる場所は強みである	・着席して机上でおこなう取り組みと、大きく身体を動かして動きたいというニーズをかなえる運動や遊びを通して切り替えの練習ができるようにしている	・生徒の普段ののびのびとした様子を保護者の方に公開する機会を増やしていきたい
2	・心理職の資格所有者や5年以上支援に従事しているスタッフによる専門的支援を提供している	・キャリアの長いスタッフが支援の計画と内容の充実深くかかわり、生徒の実情や課題に合わせておこなっている	・生徒にとっても楽しめる活動であるように手法や切り口を工夫していきたい
3	・さまざまな運動道具や遊び道具、アナログゲームなど余暇を楽しむためのツールを豊富に揃えている	・こどもが集中して楽しんだり、それを介して他者と関わりを増やしていくことができるように新しいツールも導入しながら支援にいかしている	・こどもの関心の在り処をいつもリサーチしてブラッシュアップしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域に開かれた事業所とはなれていないのが実情	・普通級の在籍生徒が多く、通室自体を周囲に知られたくないケースもあるため	・同意を得られることもだけの地域交流の機会を増やしていく
2	・ペアレント・トレーニングやきょうだい児対象のイベントなどをおこなえていない	・人的資源の問題 ・コロナ禍で一旦閉鎖的な在籍生徒のみに向けた支援やイベントになったことも大きい	・本格的なペアレント・トレーニングは他事業所に任せ、ポイント的なアドバイスやセミナーなどを開催していきたい ・きょうだいも参加できるイベント企画をしていく
3			